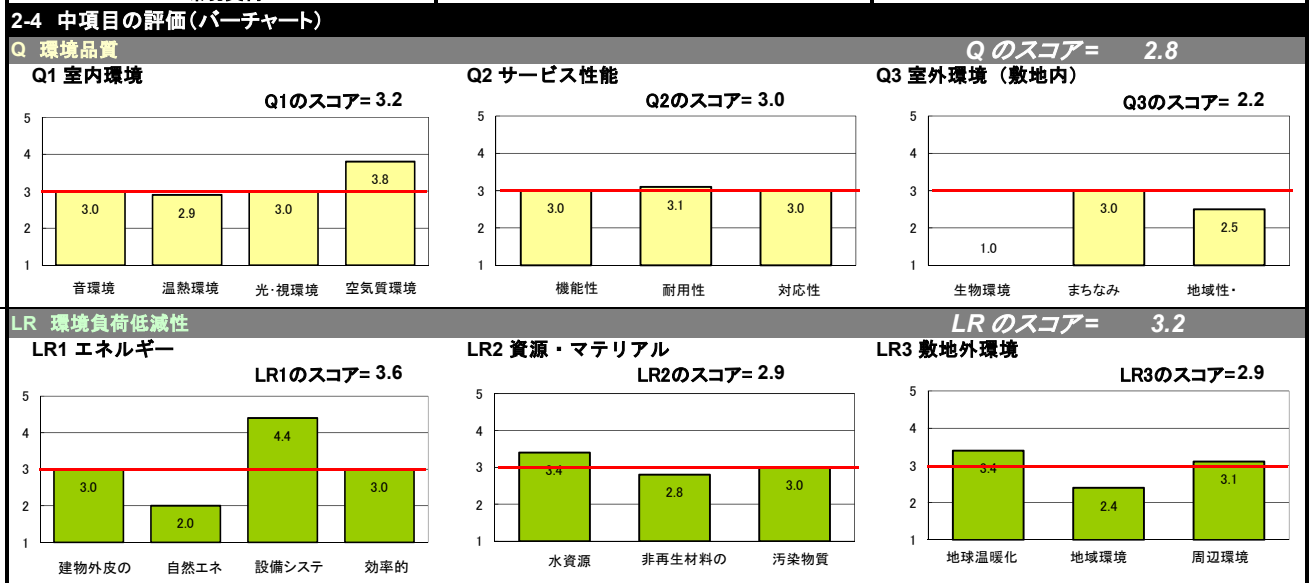
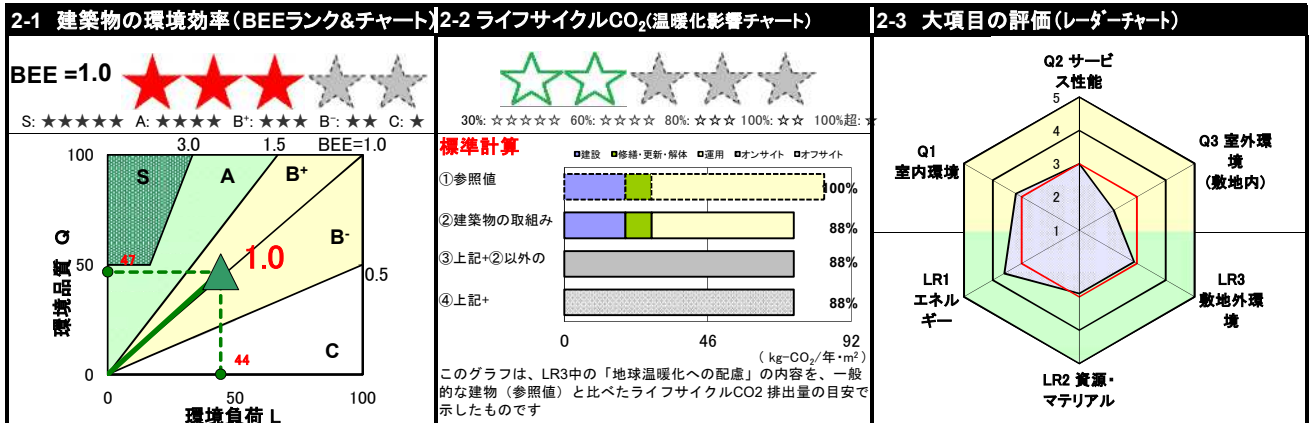
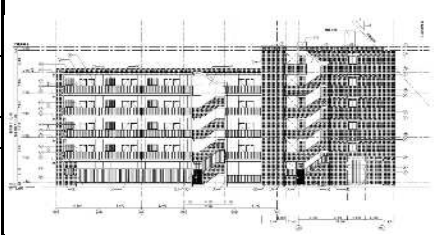


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	神奈川県相模原市緑区東橋本 共同住宅 新築工事	階数	地上6F
建設地	神奈川県相模原市緑区東橋本2丁目220-9、-26	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	80 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年1月 予定	評価の実施日	2024年9月13日
敷地面積	1,916 m ²	作成者	大東建託株式会社 相模原支店 一級建築士事務所
建築面積	601 m ²	確認日	2024年9月13日
延床面積	2,599 m ²	確認者	大東建託株式会社 相模原支店 一級建築士事務所



3 設計上の配慮事項		
総合	住戸の外皮性能は断熱性に優れた計画とし、また化学汚染物質の抑制や空調・給排水配管の更新に配慮した計画とすることで、住みやすい生活環境の実現に配慮している。	その他 特になし
Q1 室内環境	全ての住戸において断熱等性能等級4相当以上の水準である。 建材にはF☆☆☆☆製品はほぼ全面的に採用している。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし
LR1 エネルギー	BEI=0.76	LR3 敷地外環境 「光害対策ガイドライン」のチェックリストの項目の一部を満たしており、また広告物照明を行っていない。
Q2 サービス性能	空調・給排水配管の更新に配慮した計画としている。	
LR2 資源・マテリアル	主要水栓に節湯水栓や省水型機器を採用している。 間仕切壁にLGS下地を使用している。 躯体への打込配管を行っていない。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される